

## 令和5年度 都立向丘高等学校 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立向丘高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭（総務部主任兼務）＝事務局長、総務部 計2名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務担当）、主幹教諭（生活指導担当）、主任教諭（進路指導担当） 計6名
- (4) 協議委員の構成  
学識経験者、同窓会長、PTA会長（2名）、近隣中学校長、地域活動センター所長、近隣消防団団長、警察署スクールサポーター 計8名

### 2 学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 6月15日（木）内部委員・事務局7名、協議委員8名  
委員一覧 評価委員一覧 年間予定  
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題 学校概要（前年度の学校経営報告、今年度学校経営計画、今年度の教育活動に関する各分掌・学年の目標及び活動の方針）学校概況（各分掌・学年の1学期の教育活動報告、協議委員からの教育活動に対する質疑応答
  - 第2回 11月17日（金）内部委員・事務局7名、協議委員6名  
学校概況、（2学期の教育活動中間報告）、協議委員からの教育活動に対する質疑応答、学校評価アンケートの内容検討、協議
  - 第3回 3月13日（水）内部委員・事務局7名、協議委員6名  
今年度の教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する質疑応答、学校評価アンケートの結果及び分析結果報告、学校運営に関する提言、協議  
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 11月17日（金）内部委員2名、協議委員3名  
学校評価の基本方針の確認、質問項目の検討、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討（質問項目、実施方法、実施後のスケジュール）
  - 第2回 3月13日（水）内部委員2名、協議委員1名  
アンケート結果の分析・考察・課題の整理、評価報告書・校長への提言（原案）の検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月	全校生徒	対象：844人	回収：779人	回収率：92.2%
・12月～2月	保護者全員	対象：844人	回収：519人	回収率：61.4%
・12月～3月	教職員	対象：48人	回収：36人	回収率：75.0%
・12月	地域住民	対象：100人	回収：67人	回収率：67.0%
- (3) 主な評価項目
  - ・校長の重点目標への教員の取組とそのことに対する生徒の評価、学校運営、学習指導、生活指導、体罰・いじめ、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフ・ワークバランス等
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・保護者への連絡方法の改善に、コミュニケーションツールの有効利用を推奨する。
  - ・新入生への魅力の発信に取り組む必要がある。
  - ・本校の強みと弱みを明確にし、学校経営に反映させることで学校の魅力を更に高めてもらいたい。
  - ・本校に入学したことについての満足度が、生徒81%、保護者とも91%と高い。
  - ・コロナ感染予防上の制限が解除され、学校の学校行事や部活動等への充実感が高まった。
  - ・学校経営計画及び今年度の取組について保護者の理解が89%に向上した。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
  - ・学校への満足度を高めるため、学習活動や進路指導に対する満足度を上げるような方策を取ること。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・授業改善に向けた校内研修の実施、充実が必要であり、ICT器機の積極的利用を推進する。
- ・いじめ、体罰防止に対する学校の対応が、保護者に伝わっていないことがわかった。
- ・保護者、地域住民の結果から学校からの情報発信の重要性を再認識できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・地域連携として行っている運動会以外にも、防火活動などにおいて本校生徒が地域でもっと活躍することを望んでいる。
- ・学校及び生徒への近隣の評価は上がっている。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・学力向上対策をより一層強化し、進学実績の更なる向上を目指す。
- ・生活指導、進路指導について、今まで以上に保護者との連携を強化するとともに、学校の指導の成果を発信する。
- ・入学選抜において受検倍率 1.8 倍以上を維持するために広報活動を充実させる。

(2) 学習指導

- ・一人一台端末の活用を推進するとともに深い学びに繋がる授業を展開する。
- ・授業・教科書重視、授業のねらいの明確化、振り返りの必要性を理解した取組を行う。

(3) 特別活動

- ・リーダーシップ教育の推進など主体性を育成する取組を推進する。

(4) 生活指導

- ・向丘生の一員として社会の一員として、ルールを守る意識を育てる。
- ・学校行事の活性化に向けた改善（向陵祭における演劇・映画製作等の発表に取り組みさせる）
- ・自転車乗車時のヘルメット着用率を向上させる。
- ・カーディガン、ベストの制服導入に伴い着用の徹底を図る。

(5) 進路指導

- ・進路部を中心とした組織的な進路指導と模試分析会及びケース会議の推進と有効活用を推進する。
- ・国公立志望者への出願指導方針検討会議を活用し、合格率を向上させる。

(6) 健康・安全

- ・校舎内照明のLED化を進めている。階段など一部取り残された部分の改修要望を行う。
- ・大規模空調工事による、空調使用不可期間の対策が必要である。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員回答人数 6人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 6人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	1					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

8 その他

- ・学校評価アンケートは、Forms、マークシートでの回答形式で行い業務の効率化を図っている。
- ・地域の方にアンケート結果を回覧版でお伝えした。